

基礎情報				
事業名	公民館への太陽光発電の設置と環境学習による持続可能な社会の推進事業		事業総額	1,808,000 円
実施団体名	認定 NPO 法人おかやまエネルギーの未来を考える会		補助総額	1,458,000 円
協働担当課名	中央公民館	環境保全課		
連携団体名				

事業評価			
事業の目標 (提案書より抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育等を広げることで人々の温暖化問題や低炭素社会への意識が変わり、地域のエネルギー資源の再発見や自主的な二酸化炭素ゼロの地域づくりを進めてもらうことができるようになること。 ・太陽光発電の設置数を増加させることで自然エネルギーの導入拡大と市域の二酸化炭素削減が図られること。 ・太陽光発電の電力を災害時に非常用電源として活用することで地域防災の役に立つこと。 		
取り組み	現在(平成 28 年 9 月末)の状況	自己評価	課題がある場合、その対策
環境教育講座の実施	(岡輝公民館) 参加者は各回 15 名程度。 60 代以上の参加者が多い。 (岡西公民館) 参加者は各回 10 名程度。 70 代以上の参加者が多い。	両館とも学びだけでなく、参加者同士の関係づくりにつながっており、問題意識を持った参加者が「せっけんづくり」「ごみの分別」「リサイクル」など小さくても身近な取り組みを検討し始めている。公民館の協力も心強く、参加者を継続的にサポートしていきたい。	30 代～40 代の受講者が少ない。公民館の子育て講座などと連携して(環境に関する情報提供の時間を設けるなど)、若い世代に情報を届けていきたい。
組織づくり	現時点では具体的な動きはなし。	上記のとおり、意欲的な参加者によって小さなプロジェクトが検討されはじめているほか、公民館の館長、職員自身が積極的に学びを深めており、勉強会のような雰囲気が醸成されはじめている。	

地域共同発電所づくり	(岡輝公民館) 11 月 19 日に点灯式の開催予定。 (岡西公民館) 2 月 23 日に点灯式の開催予定。	現時点で工程に大きな不安はない。地域及び公民館利用者などの意欲と関心は高まりつつあるため、パネル設置を通じてさらなる周知拡大をはかりたい。	はじめての取組になるため協定事務などに不安がある。今後の展開もふまえて丁寧に流れを確認しながら事業を進めたい。
------------	---	---	---

協働評価			
項目	自己評価		課題がある場合、その対策
連絡・調整について それぞれが積極的に情報を公開・共有していますか？	定期的なミーティングは開催していないが、必要があれば電話、メールにて連絡・情報共有を行っている。		
協働効果について それぞれが役割を果たし、相乗効果が生まれていますか？	担当課が必要な手続き、ルールを確認してくれることで安心して事業が進められている。また、公民館が地域住民との仲介役を担うことで情報提供や雰囲気作りがスムーズに進んでいる。		
関係性について それぞれが対等な関係のもとで事業が進められていますか？	対等な関係が築かれている。		
目的共有について 次年度以降の事業展開について協議・共有されていますか？	次年度の事業展開は検討中であるが、理想や課題は共有されている。今後の事業成果をふまえて、目標を具体化していきたい。		太陽光パネルの設置については様々な条件をクリアする必要があるほか、住民のニーズ・関心をはからなければならないため、慎重に検討を行いたい。

実務評価			
項目	自己評価		「していない」場合、その対策
収入・支出に計画からの大きな変更は発生していませんか？	□している	☑していない	

収入・支出を記録するとともに 証明書類を保管していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	
事業の成果が記録・整理され、 成果物が保管されていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> している	<input type="checkbox"/> していない	

その他

ESD・市民協働推進センターへの要望や
特記事項があればご記入ください。

中間評価は以上になります。ご協力ありがとうございました。